記載例

書式１　　（法人用）　　月　　日

直前期の「A売上高」～「M当期純利益」までは、直前期の決算書の損益計算書（売上原価及び販売管理費の内訳書を含む。）の該当項目の金額をそのまま記載してください。

「A売上高」の内訳は書式３の売上高と一致するように記載してください。

収支計画　　（単位：　千円）

		直前期	１年後	２年後	３年後	４年後	５年後
A売上高	産業廃棄物部門売上高						
	その他売上高						
	小計　（内訳は書式３による）		0	0	0	0	0
B売上原価	外注費						
	労務費						
	減価償却費						
	維持管理積立金						
	その他						
	小計		0	0			
C売上総利益（A－B）			0	0	0	0	0
D販売管理費	役員報酬						
	人件費						
	減価償却費						
	その他						
	小計		0	0	0	0	0
E営業利益（C－D）			0	0	0	0	0
F営業外収益							
G営業外費用							
H経常利益（E＋F－G）			0	0	0	0	0
I特別利益							
J特別損失							
K税引前当期純利益（H＋I－J）			0	0	0	0	0
L法人税、住民税及び事業税							
M当期純利益（K－L）			0	0	0	0	0
N前期繰越利益			0	0	0	0	0
O当期未処分利益（M＋N）			0	0	0	0	0

1～5年後の「A売上高」の小計が前期比伸び率１５％を超える場合は、三重県との協議の上で中小企業診断士が作成した診断書を提出してください。

最終処分場設置者のみ、最終処分場に係る維持管理積立金を記載してください。

上記項目に当てはまらない項目は「その他」に記載してください。

斜線の部分は記載不要。

直前期の「O当期未処分利益」は、直前期の貸借対照表の繰越利益剰余金の額を記載してください。

1～5年後の「N前期繰越金」には、前期の「O当期未処分利益」のをそのまま記載してください。

1～5年後の「①前期繰越金」には、前期の「⑦次期繰越金」をそのまま記載してください。

斜線の部分は記載不要。

資金計画

	直前期	１年後	２年後	３年後	４年後	５年後
①前期繰越金		0	0	0	0	0
②償却前利益（M+減価償却費）		0	0	0	0	0
③借入実行額						
④その他資金調達						
⑤設備投資支払額						
⑥借入金返済額						
⑦次期繰越金（①+②+③+④−⑤−⑥）		0	0	0	0	0

直前期の「⑦次期繰越金」には、直前の貸借対照表の流動資産における現金・預金の合計額を記載してください。

改善に向けた具体策

項目	実績評価	改善内容
純資産		
売上高		
売上原価		
経費		
その他		

《実績評価》
追加書類が必要となった要因の説明を、各項目に対応するように記載してください。
直接的な要因でない項目は、現在の状況や数年の推移等を記載してください。
「その他」には、上４つの項目にあてはまらない要因があれば記載してください。
《改善内容》
実績評価の内容を踏まえて、改善に向けた具体策を記載してください。
改善が不要である項目は、記載不要です。

記載例

書式２

直前期の「A売上高」～「Ｉ所得額」までは、直前期の確定申告書及び収支内訳書等の該当項目の金額をそのまま記載してください。

画書（個人用）

「A売上高」は書式３の売上高と一致するように記載してください。

日

収支計画

（単位：　千円）

		直前期	１年後	２年後	３年後	４年後	５年後
A	売上高						
B	売上原価						
C	売上利益（Ｃ＝Ａ－Ｂ）		0	0			0
D	その他収入						
E	その他経費						
F	差引利益（Ｆ＝Ｃ＋Ｄ－Ｅ）		0	0			
G	各種引当金・準備金等繰戻額等						
H	各種引当金・準備金等繰入額等						
I	所得額（Ｉ＝Ｆ＋Ｇ－Ｈ）		0	0	0	0	0

１～５年後の「A売上高」の小計が前期比伸び率１５％を超える場合は、三重県との協議の上で中小企業診断士が作成した診断書を提出してください。

斜線の部分は記載不要。

１～５年後の「①前期繰越金」には前期の「⑦次期繰越金」をそのまま記載してください。

資金計画

①前期繰越金		0	0	0	0	0
②税引後所得金額						
③借入実行額						
④その他資金調達						
⑤設備投資支払額						
⑥借入金返済額						
⑦次期繰越金（①＋②＋③＋④－⑤－⑥）		0	0	0	0	0

直前期の「⑦次期繰越金」には、原則前年度末時点の現金・預金の合計額（確定申告書内の貸借対照表等）を記載してください。

改善に向けた具体策

項目	実績評価	改善内容
純資産		
売上高		
売上原価		
経費		
その他		

《実績評価》
追加書類が必要となった要因の説明を、各項目に対応するように記載してください。
直接的な要因でない項目は、現在の状況や数年の推移等を記載してください。
「その他」には、上４つの項目にあてはまらない要因があれば記載してください。
《改善内容》
実績評価の内容を踏まえて、改善に向けた具体策を記載してください。
改善が不要である項目は、記載不要です。

記載例

書式３　　年　　月　　日

売上高内訳書

＜１年度目＞

産業廃棄物処理業等	品目	取扱量	単価（円）	売上額（円）
	小計			
その他事業	事業内容			売上額（円）
	小計			
合計				

品目には、売上に占める主な品目を記載してください。

取扱量の単位を記載してください。（ｔ、m^3等）

単価は、今後予定される収集運搬契約の単価の平均額等を基に記載してください。

書式１（法人用）の売上高の「産業廃棄物売上高部門」の金額と一致していることを確認してください。

書式１（法人用）の売上高の「その他売上高」の金額と一致していることを確認してください。

書式１（法人用）の売上高小計の金額、書式２（個人用）の売上高の金額と一致していることを確認してください。

＜２年度目＞

産業廃棄物処理業等	品目	取扱量	単価（円）	売上額（円）
	建設系廃棄物	○○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	汚泥	○○m^3	○○○円/m^3	○○○○円
	鉱さい	○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	水銀使用製品産業廃棄物	○回 （※運搬回数）	○○○円/回	○○○○円
	小計			○○○○円
その他事業	事業内容			売上額（円）
	建設業			○○○○円
	小計			○○○○円
合計				○○○○円

＜３年度目＞

産業廃棄物処理業等	品目	取扱量	単価（円）	売上額（円）
	建設系廃棄物	○○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	汚泥	○○m^3	○○○円/m^3	○○○○円
	鉱さい	○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	水銀使用製品産業廃棄物	○回	○○○円/回	○○○○円
	小計			○○○○円
その他事業	事業内容			売上額（円）
	建設業			○○○○円
	小計			○○○○円
合計				○○○○円

記載例

＜４年度目＞

産業廃棄物処理業等	品目	取扱量	単価（円）	売上額（円）
	建設系廃棄物	○○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	汚泥	○○m^3	○○○円/m^3	○○○○円
	鉱さい	○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	水銀使用製品産業廃棄物	○回	○○○円/回	○○○○円
	小計			○○○○円
その他事業	事業内容			売上額（円）
	建設業			○○○○円
	小計			○○○○円
合計				○○○○円

＜５年度目＞

産業廃棄物処理業等	品目	取扱量	単価（円）	売上額（円）
	建設系廃棄物	○○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	汚泥	○○m^3	○○○円/m^3	○○○○円
	鉱さい	○ｔ	○○○円/ｔ	○○○○円
	水銀使用製品産業廃棄物	○回	○○○円/回	○○○○円
	小計			○○○○円
その他事業	事業内容			売上額（円）
	建設業			○○○○円
	小計			○○○○円
合計				○○○○円